

シャクナゲの育て方 秋のお手入れ

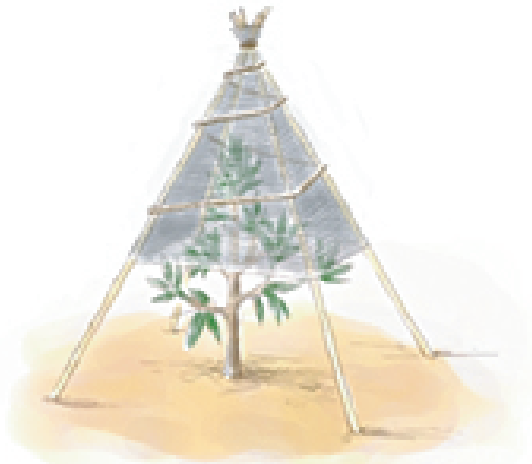
秋のシャクナゲ

最高気温が25℃を下回るようになったら、秋の作業開始です。10月はシャクナゲにとって過ごしやすい時期です。11月には、今年できた枝や葉がしっかり形成され蓄の成長がとまります。

■植え付け・植え替え

庭植えの場合、積雪地帯では冬囲いの準備を状況に応じて行います。

また、凍る地域では厚めに敷きワラをします。



管理方法

■水やり

庭植えは、乾いていたら与えます。

鉢植9月は朝夕の涼しい時に、10月は毎日、11月に入ったら乾き具合を見て与えます。春から夏にかけ伸びた枝の先に蕾がつき、大きくなってきています。この時期、極端に水を切らすと蕾が枯れる場合がありますので注意します。

■肥料

11月に醗酵油かすと骨粉を適量施します。

化成肥料はこの時期に使用しない方がよいです。

■水やり

適期は春ですが、本州では秋も行えます。寒冷地では秋の植え替えは行わないようにします。鉢から株を抜き、根を切らないように根土を半分ほぐし、根を広げて1回り大きい深鉢に植え付けます(駄温鉢が最適)。植え付け用土は、鹿沼土4：腐葉土2：ピートモス4の割合にします。植え終わったら、鉢ぞこから流れるほどたっぷりと水を与えます。そして、直射日光と風の当たらない場所に置きます。

